

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？ |
| 問2 | 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？ |
| 問3 | 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？ |
| 問4 | 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？ |
| 問5 | 江戸時代に金印が発見されたと伝えられている、現在の福岡県にある島は何という？ |
| 問6 | 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？ |
| 問7 | 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？ |
| 問8 | 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？ |
| 問9 | 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？ |
| 問10 | 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？ |
| 問11 | 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？ |
| 問12 | 弥生土器の名称の由来となった、最初に見つかった場所は現在の何という地名？ |
| 問13 | 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？ |
| 問14 | 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？ |
| 問15 | 九州地方で主に副葬品として使われていた、銅剣などとともに見つかる青銅の武器を何という？ |
| 問16 | 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？ |
| 問17 | 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？ |
| 問18 | 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？ |
| 問19 | 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王が贈られたことを示す重要な遺物を何という？ |